

がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコルの提出が必須です
 プロトコルが存在しない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	AVASTIN(5mg/kg)+mFOLFOX6
診療科名	消化器内科
診療科責任者名	平田 信人
適応がん種	治癒切除不能進行再発結腸直腸がん
保険適応外の使用	有 無

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	En-11
登録日・更新日	2007年10月1日
削除日	
出典	TREE1、2試験
入力者	安室 修

投与順に記入(抗がん剤のみ)

	薬剤名	規格	投与量算出式	ルート					投与時間	施行日
				IV	DIV	IVHポート	側管	その他()		
No.1	アバスタチン点滴静注用	100mg、400mg	5mg/kg	IV	DIV	IVHポート	側管	その他()	90分	Day1
	生理食塩液	100mL								
No.2	アイソボリン注	25mg、100mg	200mg/m ²	IV	DIV	IVHポート	側管	その他()	2時間	Day1
	ブドウ糖液5%	250mL								
No.3	エルプラット注	100mg	85mg/m ²	IV	DIV	IVHポート	側管	その他()	2時間	Day1
	ブドウ糖液5%	250mL								
No.4	5-FU注射	250mg	400mg/m ²	IV	DIV	IVHポート	側管	その他()	bolus	Day1
	生理食塩液	50mL								
No.5	5-FU注射	250mg	2400mg/m ²	IV	DIV	IVHポート	側管	その他()	46時間	Day1
	生理食塩液	20、50mL								

1コースの期間	14日
投与間隔の短縮規定	短縮可能(日) ・ 短縮不可能
計算後の投与量上限値	110%
計算後の投与量下限値	50%

記入者	安室
確認者	近藤 亮

減量・中止基準	いずれかに該当する場合休薬する: 蛋白尿(2g超/日)、本薬に起因するGrade3以上の肝機能障害、Grade3の血栓症/塞栓症 いずれかに該当する場合中止する: Grade4(蛋白尿、血栓/塞栓症) Grade3以上(出血、薬剤でコントロールできない高血圧、本剤に起因する過敏症) 消化管穿孔または裂開
前投薬	グラニセトロン3mg デキサメタゾン
その他の注意事項	脳転移を有する患者に禁忌 3次治療以降での有効性・安全性のデータなし 術後補助化学療法の適応なし アバスタチン点滴静注用の点滴時間: 初回90分、2回目以降は忍容性に応じて60分、30分に短縮可能 mFOLFOX6との併用は海外での第 相臨床試験のデータあり(2007/5/21現在)